

平成 16年度

瀬谷区日赤社資集まる!

8,112,059円

町内会役員の方はじめ、皆様のご協力に感謝致します。

日赤は国内外の人的任務を達成することを目的として、災害救護、血液事業、病院医療、各種奉仕団活動等で活動しています。身近なところでは、区内で発生した水害、火災等のお見舞いをを行っています。

共同募金

ご協力ありがとうございました

平成 16年度にお寄せいただいた募金は、

- ・ 赤い羽根共同募金 12,352,160円
- ・ 年末たすけあい募金 1,770,071円

年末たすけあい募金については、次のとおりの配分となりましたので、ご報告いたします。

年末たすけあい募金配分先	
要援護世帯 (高齢者・障害児者・生活困窮世帯など)	385,000円 @ 5000x 77名)
区内福祉施設・団体 (15箇所)	610,000円
瀬谷区社協共同募金事業	706,812円
合計	1,701,812円

善意銀行への寄託結果

平成 16年に、当社会福祉協議会の窓口へ善意の寄託金としてお持ちいただいたご寄付の総額は、**1,278,102円** でした。
(平成 17年 2月末現在)

この他、車椅子などの物品寄託が 4 件ありました。
寄託者の皆様 本当にありがとうございました。

Content's (目次)

- 『防災を通して地域のつながりを考える』
- シリーズ『子育て』を考える
- 放課後児童クラブ
- 募金関連結果のご報告

平成 16年度

法人賛助会員のご紹介 (敬省略)

- 継続頂いた法人
- (有)ニューパール (有)国検 (株)ホシ薬局
 - (株)アアム 東海タオル(株) (有)第一産業
 - 東都造園(株) (株)ナケイ 川合機工(株)
 - (有)三ツ境運輸 三光ガス(株) 長村通信工事(株)
 - 共同建工(株) 社 横浜市瀬谷区メディカルセンター
 - (有)橋田商事 拓神建設(株) (有)河本工業
 - (有)一里山ゴルフセンター (株)白光社 大西金属(株)
 - 横浜隼人高等学校 (有)奥津商事
 - 神奈川農産工業(株) (有)福田組 マルミ産業(株)
 - (有)日本抵抗器特販 (有)山百合商事 タカラ印刷(株)
 - コーロ計装(株) (株)日生設備 神奈川宝蔵産業(株)
 - (有)山名ビル (株)小林園 (株)浅川建設
 - (有)フジガス工業 川口白鳳(株) トーワライフ(株)
 - 東京新聞オフセット(株) (有)安芸美装
 - (有)星光電業 (有)木下左官店 堀江造園(株)
 - (株)相幸サービス (株)フクハラ (株)連合社印刷
 - 瀬谷交通(有) 三ツ境交通(有) 医療法人 産育会
 - (株)オオスミ (有)平本ビル 日神車輛(株)
 - (株)三ツ境生花園 (有)モリハマ

- 新規加入法人
- (株)小林住宅工業 (株)鈴木工業 (株)小塚建設
 - (株)神奈川建築職人会 三鈴興業(株)
 - (株)シンヨー・AV・センター 恵積興業(株)
 - 志水工業(株) 学校法人 平成学園原幼稚園
 - エスワイ産業(株) (有)重田設備工業
 - 医療法人社団 桐峰会 (有)高栄設備工業
 - 住鉱テック(株) (株)相澤興産 (株)エービーテック
 - 露木興業(株) 横浜ボーリング工業(株)
 - 日本アビオニクス販売(株)

編集後記

【瀬谷区社協】福祉情報誌『ほのぼのせや』第21号
現編集委員による発行は今号で終了です。

委員長 遠山 文晴 (第4地区民児協)
委員 中里 妙子 (瀬谷北部地区民児協)
池谷 弘子 (細谷戸地区社協)
西村喜久代 (配食サービスたんぼの会)
栗田 裕美 (子供会育成連絡協議会)
相澤 俊彦 (瀬谷区社協事務局長)

各号、ご愛読をいただきありがとうございました。

ほのぼのせや

瀬谷区社会福祉協議会 (社協) 情報誌
ホームページが開設されました!! www.seyaku-shakyo.jp

平成 17年 3月 18日発行
社会福祉法人
横浜市瀬谷区社会福祉協議会
瀬谷区二ツ橋町 318- 5
TEL (361) - 2117
FAX (361) - 2328
承認瀬谷区第52号

皆さんはご家庭に災害備蓄品を準備されていますか?

また、お住まいの地域の避難場所についてはご存知でしょうか?

『防災』に関しては大変多くの情報やガイドブックがあります。備えやそれからの生活についてはもちろんなのですが、注目すべき点は、公的な機関も含めて 地域 が助け合わなければどうにもならない、ということであらためて知らされることです。

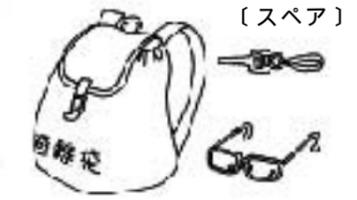
1. 自助努力

「合宿に行っても、泊まる部屋の懐中電灯は無意識でチェックしている。」
16歳 高1・男 (当時6歳)《引用1》

まずは身の回りに万一の備えを!

自身と家族の安全を図らなければ、まわりに目を向ける余裕もありません。

避難袋には何を入れるべき?



区役所の災害担当などで案内されています。自分専用の物も入れておかないと不便です。

普通救命の知識とは?



地域での実施は区社協や消防署にお問い合わせを。日赤ホームページでもよし

家屋耐震対策・家具転倒防止



日本建築防災協会などのホームページ上で、耐震性を計る自己診断ができます。

2. 互助努力

「一番大事なことは、助け合うこと」 18歳 高3・男 (当時8歳)《引用2》

自助努力もむなしく、家が崩れて家族が下敷きに...! その時あなたは?

~生きるか死ぬかは地域住民の力にかかっている!!~

〔実例紹介〕～淡路島北淡町の例～
淡路島にある北淡町という町は、大震災で街全体の30%の家屋が全壊したという大変被害の激しかった所ですが、倒壊家屋に占める死者率は神戸市の約半分、芦屋市の約3分の1に留まっています。
「何故か?」 阪神大震災では要救助者が約1万8千人いたといわれていますが、そのうち自衛隊や警察などが救助したのはおよそ30%で、実にその8割が『遺体の救出』だったそうです。で、ほかの70%はどうかというと、それは地域の住民による

救出で、その9割が『生存者の救助』だったということなのです。生きるか死ぬかはいかに住民の力が重要であったかと言えます。
北淡町の死者率が低かったのは、消防団と住民による救出作業が懸命であったことを表しています。
日頃からお互いに声を掛け合い、顔の見えるおつきあいをしていたことが伺えます。

拠出参考文献 山村武彦:著「不安列島 闘う防災術」
2000年1月 株銀河出版